

平成25年度
欧州行政視察報告書

長崎市議会議員	五輪	清隆
長崎市議会議員	奥村	修計
長崎市議会議員	源城	和雄
長崎市議会議員	小宮	慶一
長崎市議会議員	佐藤	正洋
長崎市議会議員	每熊	政直

1 行政視察の趣旨

2015年NPT再検討会議に向けて、今年4月22日からジュネーブで開催される第2回準備委員会に、被爆地の市議会として会議に参加し、国連大使や被爆展示コーナーを所管する図書館長への要望活動に市長及び市議会議長と共に同席するほか、ナガサキ・ユース代表団のNGOセッションの視聴など核兵器廃絶のアピール活動を行った。

また、この機会にあわせ、ドイツ・ヴュルツブルグ市を訪問し、「市民友好都市」提携の調印式に同席し、署名を行い、長崎市とヴュルツブルグ市とが連携して市民同士の交流促進を図ることを確認した。

さらに、長崎、香港とともに「世界新三大夜景」に認定されたモナコ公国を訪問し、親善交流を深めるとともに、観光分野における意見交換を行い、夜景観光都市の協力のあり方について協議した。

2 期 間 平成25年4月14日（日）～4月25日（木） 12日間

3 出張者（五十音順）

長崎市議会議員	五輪	清隆
長崎市議会議員	奥村	修計
長崎市議会議員	源城	和雄
長崎市議会議員	小宮	慶一
長崎市議会議員	佐藤	正洋
長崎市議会議員	每熊	政直

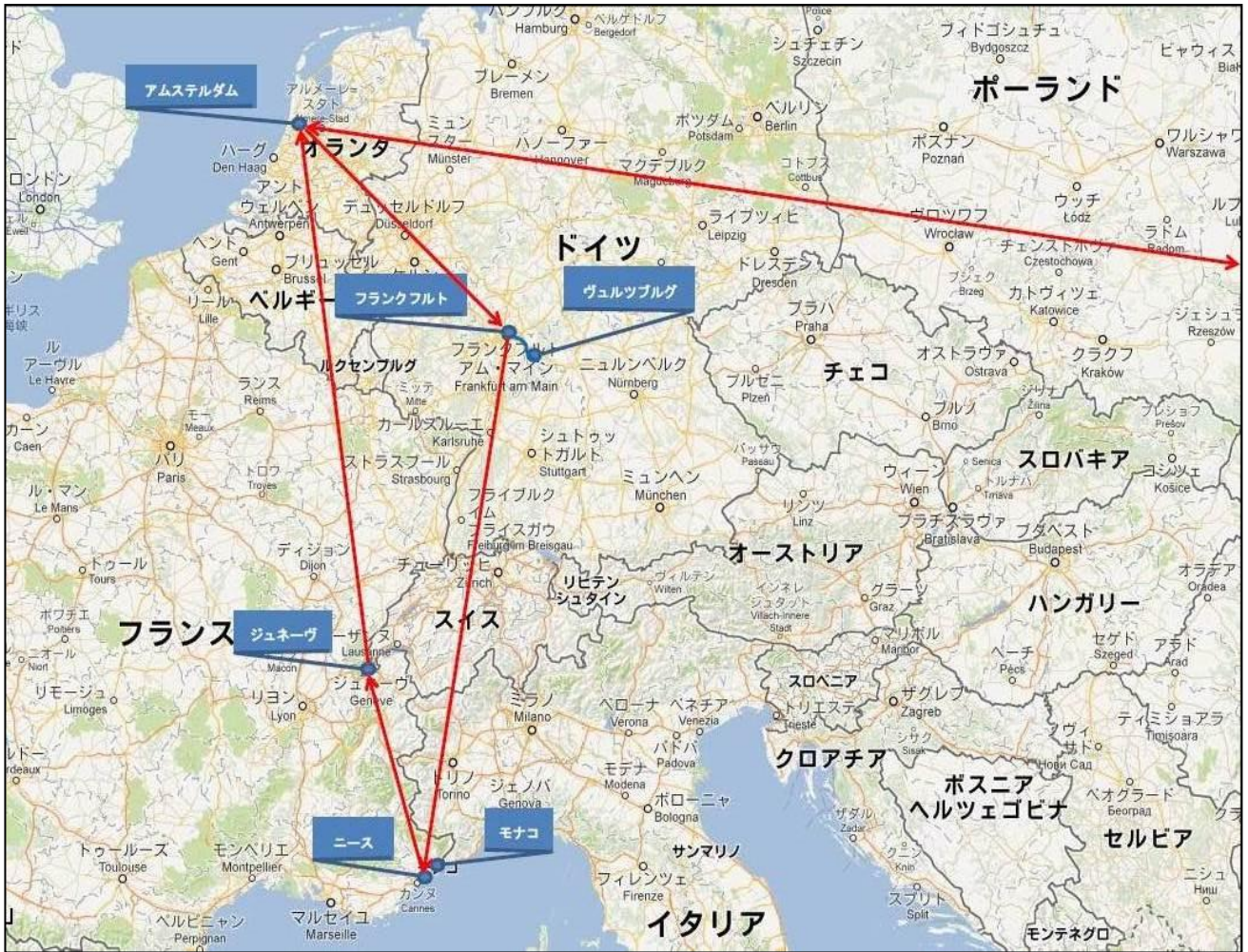
4 スケジュール

別添のとおり

日程

現地時間		用務地	用務	
4月14日 (日)	18:00	移動	長崎 → 福岡 (福岡泊)	
4月15日 (水)	10:25	移動	福岡空港発(KL870)	
	15:10		アムステルダム・スキポール空港(オランダ)着	
	17:30		アムステルダム・スキポール空港発(KL1773)	
	18:35		フランクフルト国際空港着(ドイツ) (フランクフルト泊)	
4月16日 (木)	10:54	移動	フランクフルト駅発(ICE621)	
	12:00		ヴェルツブルク駅着	
	14:00		ヴェルツブルク市内視察	
	17:00		ヴェルツブルク	シーボルト博物館訪問
	19:00		シーボルト協会との夕食会 (ヴェルツブルク泊)	
4月17日 (水)	10:00	移動	シーボルト関連史跡視察	
	12:00		ヴェルツブルク市長表敬	
	12:30		ヴェルツブルク市主催昼食会	
	14:00		市民友好都市提携調印式・レセプション	
	18:30		シーボルト協会との夕食会 (ヴェルツブルク泊)	
4月18日 (木)	8:34	移動	ヴェルツブルク駅発	
	9:57		フランクフルト空港駅(ICE1112)	
	12:45		フランクフルト国際空港発(LH1060)	
	14:15		ニース・コートダジュール空港着(フランス)	
	20:00		アンリ・フィツソール首相付国務大臣主催夕食会 (モナコ泊)	
	9:30		モナコ市長表敬(市長代理対応)	
4月19日 (金)	11:00	モナコ	ギョーム・ローズ モナコ政府観光会議局長との協議	
	12:30		ギョーム・ローズ モナコ政府観光会議局長主催昼食会	
	14:30		首相府でメドサン大使ほかモナコ政府関係者と面談・意見交換	
	15:00		設備・環境・都市計画省ジャン・リュック・ヴァン・クラヴェラン局長のプレゼンテーション	
	16:00		国際NPO「ピース・アンド・スポーツ」創業者兼事務総長ジョエル・プズ氏の活動紹介	
	17:00		モナコ海洋博物館視察	
	18:00		モナコ科学研究所見学(科学部長デニス・アルマン氏: 珊瑚の研究)	
	20:30		モナコ商工会議所主催夕食会	
	23:30		夜景鑑賞地視察 (モナコ泊)	
4月20日 (土)	9:30	モナコ	モナコ大聖堂視察(フィリップ・ブラン教区司祭)	
	11:00		モナコ熱帯植物園視察	
	12:30		モナコ市長主催昼食会	
	14:00		観光施設等視察(大公宮殿、日本庭園、国際会議場、国際テニス大会会場)	
	20:00		ギョーム・ローズ モナコ政府観光会議局長主催夕食会 (モナコ泊)	
4月21日 (日)	13:30	移動	ニース・コートダジュール空港発(LX525)	
	14:30		ジュネーヴ・コアントラン国際空港着(スイス) (ジュネーヴ泊)	
4月22日 (月)	8:00	ジュネーヴ	国連パス登録	
	10:00		NPT再検討会議第2回準備委員会開会式傍聴	
	11:00		テクバイゼ図書館長表敬	
	15:00		軍縮会議日本政府代表部訪問(天野大使表敬)	
	19:30		天野大使公邸で大使主催夕食会 (ジュネーヴ泊)	
4月23日 (火)	9:00	ジュネーヴ	ジュネーヴ市内視察	
	13:15		NGOフォーラムナガサキ・ユース代表団セッション参加	
	15:00		ジュネーヴ市内視察	
	18:00		ホテル夕食 (ジュネーヴ泊)	
4月24日 (水)	11:55	移動	ジュネーヴ・コアントラン国際空港発(KL1928)	
	13:35		アムステルダム・スキポール空港着	
	14:45		アムステルダム・スキポール空港発(KL869) (機中泊)	
4月25日 (木)	8:20	移動	福岡空港着 福岡空港 → 長崎 ※14日と25日は日本時間	

地図



ヴュルツブルク市との市民友好都市提携について

1 提携の理由

ヴュルツブルク市は、19世紀に出島の商館医として赴任し、日本における西洋医学の基礎を築くとともに、日本の近代化に大きく寄与したフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの生誕地である。同市には、シーボルトに関係する団体があり、また日本から持ち帰った資料や遺品が保管されている。この提携により、シーボルトがつなぐ両市の歴史的関係を未来に継承するとともに、市民や民間団体間の交流をよりいっそう促進させる。

2 提携日 平成25年4月17日

3 ヴュルツブルクと長崎との交流

(1) 長崎市

平成8年2月 シーボルト記念館（長崎市）とシーボルト博物館（ヴュルツブルク市）が友好博物館提携

平成12年8月 ブランデンシュタイン・コンスタンティン・ツェッペリン氏にシーボルト記念館名誉館長を委嘱

(2) 大学関係

平成8年9月 長崎大学とヴュルツブルク大学が学術交流協定を締結（毎年、交換留学生を相互派遣）

4 経緯

時期	内容
平成24年2月22日	平成24年度施政方針において市民友好都市提携について表明
平成24年4月5日	長崎市長からヴュルツブルク市長への文書による提携申入れ
平成24年5月7日	核不拡散条約(NPT)再検討会議第1回準備委員会に係る欧州訪問に併せ、田上市長がヴュルツブルク市長を表敬訪問し、提携申入れの趣旨について改めて説明
平成24年12月19日	ヴュルツブルク市議会において提携承認
平成25年2月6日	ヴュルツブルク市が提携承認の文書発出

5 ヴュルツブルク市での公式行事

(1) シーボルト博物館視察等

シーボルト協会が管理運営するシーボルト博物館を視察し、協会理事長のバイライス氏及び長らく協会会長を務めた顧問のラングナー氏から展示資料や長崎のシーボルト記念館との提携等について詳細な説明を受けた。



その日の夜は、市内の由緒あるレストランにて協会会員との交流会に出席し、市長議長以下議員団は、この日の訪問と友好交流の発展を願ってメッセージをそれぞれ記帳した(写真中央)。その後はお互いのふる里ソングを合唱し合い、友好を深めた(写真右)。



(2) ヴュルツブルグ市長表敬

今回の調印式はヴュルツブルグ市の議場にて行われたが、それに先立ってローゼンタール市長表敬並びに市主催の昼食会へ出席した。ヴュルツブルグ市庁舎は中世に建てられた市内有数の建造物であり、中でも表敬会場の広間(写真左)は中世の雰囲気をもっとも色濃く残していた。

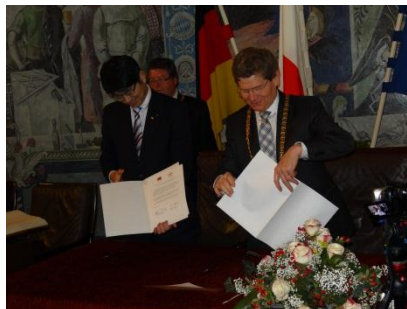
また、ヴュルツブルグ市は第二次世界大戦の空襲にて市内の90%が焼失したとのことであるが、被爆都市長崎の訪問団ということもあってか、空襲後の市内模型が展示してある市庁舎1階にてローゼンタール市長自身から当時の状況説明を受けた(写真右)。



(3) 市民友好都市提携調印式

駐ドイツ大使の中根氏と合流し、ヴュルツブルグ市議会の議員が集まる調印会場の議場へと移動して調印式に臨んだ。調印に際し、ローゼンタール市長、田上市長、中根大使及びシーボルト協会会長であり、シーボルトの末裔でもあるツェッペリン伯爵のスピーチがあった(写真左)。

調印には長崎市議団もそれぞれ署名を行い、今回の市民友好都市提携を重視する長崎市の姿勢をアピールした。その後に記念品を交換した。



シーボルト関連団体概要・人物略歴

1 シーボルト協会

- ・設立：1985年
- ・目的：1) シーボルト親子（長男アレキサンダー、二男ハインリッヒ）の顕彰
2) シーボルトの精神を受け継ぎ日独の文化交流を行う。
3) 日本文化の紹介

2 シーボルト博物館

- ・1995年、シーボルトを顕彰し日独の文化交流を進めるため、シーボルト生誕200周年の前年開設。開設に際し、長崎市から展示品18点を寄贈。
- ・博物館は旧ヴュルガープロイ（市民醸造所）の本館の2フロアをしめており、図書館、訪問者用宿泊施設、「ドイツと日本の交流の間」が設けられている。
- ・公益法人シーボルト協会がヴュルツブルク市から無償で借り受け、改装後、博物館として管理・運営している。



【所在地】 Frankfurter Strasse 87
D - 97082 Wuerburg

【TEL/Fax】 (+49) 0931 - 41 35 41

【開館時間】

火曜日から日曜日：15～17時（休館日は月曜日）

および 当館規定により開館します。

特別展示 の開催期間中は、上記に加えて
土曜日および日曜日 10～12時

3 コンスタンチン フォン ブランデンシュタイン=ツェッペリン伯爵（シーボルト協会会長）



- ・シーボルトから数えて5代目にあたる。8千点を超えるシーボルト関連の遺品や資料を保存。
- ・長崎市長・市議会議長が ブランデンシュタイン伯爵を訪問し、長崎市シーボルト記念館の名誉館長辞令を交付（2000年）
- ・シーボルトの遺品、文献などシーボルト記念館に寄贈するとともに、「ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関係文書のマイクロフィルム目録」を発行。
- ・これまでシーボルト記念館特別展・企画などへ参加するため数回長崎を訪問。
- ・マルタ騎士団社会福祉事業団ドイツ支部総裁を務め、岩手県「一関藤の園」の援助を行う。

4 ウド・バイライス氏（シーボルト協会理事長）

- ・シーボルト協会創立メンバー。2011年から初代理事長クライン・ラングナー氏にかわり2代目理事長に就任。
- ・職業～職業訓練校の経営者・校長。



5 ウォルフガング・クライン=ラングナー氏（シーボルト協会顧問）



- ・シーボルト協会創立（1985年）から2011年まで26年間理事長を務める。
- ・これまで、ヴュルツブルク市長・市民団を引率して何度も長崎市訪問を訪問するとともに、シーボルト記念館の種々の特別行事にも協力を行うなど、長崎市とヴュルツブルク市との交流の中心的な役割を果たす。
- ・2011年、在独日本大使館から日独友好賞を受賞する。

【ヴュルツブルクの概要】

○基礎データ

 ドイツバイエルン州ウンターフランケン行政管区ヴュルツブルク市

1 面積 87.63km²


2 人口
約13万4千人(バイエルン州4番目の都市)


3 地理
ヴュルツブルクはマイン渓谷の中流域に位置し、その市域はマイン川両岸に広がる。マイン川が浸食したことで形成された西岸の石灰岩でできた高台のマリエンベルクには要塞がそびえている。


4 気候
年間平均気温 9.2℃ (5月は平均 14℃程度)





5 姉妹都市 (10都市)

 カーン (フランス、カルヴァドス県) 1962年


 ダンディー (イギリス) 1962年


 ロチェスター (米国、ニューヨーク州) 1964年


 ムワンザ (タンザニア、ムワンザ州) 1966年


 大津市 (日本、滋賀県) 1979年

 サラマンカ (スペイン、サラマンカ県) 1980年

 ズール (ドイツ、チューリンゲン州) 1988年

 ウメオ (スウェーデン、ヴェステルボッテン県) 1992年

 ブレイ (アイルランド、ウィックロー州) 1999年

 トルトノフ (チェコ、フラデツ・クラロヴェー州) 2008年

モナコ公国との夜景観光に関する提携について

1 モナコ国務大臣主催夕食会

モナコのアンリ・フィッソール首相付国務大臣がホテルロビーにて出迎え、午後はモナコ観光局の用意した専用バスにて市内を視察し、その夜は大臣主催夕食会がホテルレストランにて開催された。その席にて、フィッソール国務大臣とメドゥサン駐日大使及び日本モナコ協会のペアトリス事務局長に記念品を渡した。モナコは先の東日本大震災に際して、8～11人の消防士を被災地に派遣したとのことであるが、これは全消防士の13%を占める人数とのことであった。



2 モナコ市長表敬

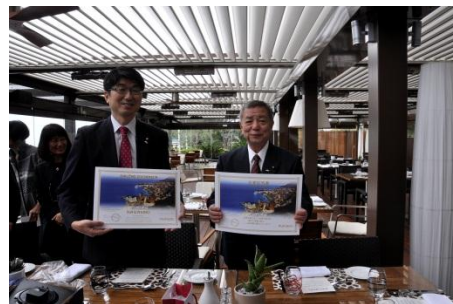
翌日4/19はモナコ市長を表敬し、市長がロレックスオープン・テニストーナメントに出席につき不在のため、助役が対応した。市庁舎内を視察し、モナコ市議会やモナコ市当局の概要について説明を受けた。モナコ市は長崎市でいえば市民課のようなところであり、産業・環境などは政府直轄とのことであった。市議会議員は国民から15名を選出し、その中から市長を互選する仕組みとのことであった。モナコ市は予算の75%を国からの交付金で、25%を広告収入等で賄っているとのことであった。



3 モナコ観光局との協議及び昼食会

首相府にてモナコ政府観光局のギョーム局長からモナコの観光の現況について説明を受け、夜景観光都市に関する提携について意見交換を行った。モナコは年間観光客が750万人で、観光客一人あたりの経済効果は、ロシア/アラブ系観光客が1,000～1,500€/日が最高で、最低はスペイン系観光客の250€/日とのことであった。モナコ政府とモナコ市との分担によれば、観光は政府の所管であり、国連にも加盟している国家が外国の地方公共団体との間に対等な調印を行うのは困難との説明があったが、観光都市として相互交流を深めて互恵的な提携を模索していくことで合意

した。その後の昼食会にて、観光局長から世界三大夜景都市に選ばれた長崎市の栄誉を祝して政府発行の証書が交付された。



4 モナコ首相府にて政府関係者との意見交換等

引き続き午後も政府関係者からモナコ政府の概要をヒアリングし、モナコの国家公務員が2,000人であること、モナコ市職員が600人であること、モナコの国家予算が8～9億€であることなどの説明を受けた。また、有数の国際NPO法人である「Peace&Sports」代表のブズ氏から活動状況の説明を受け、本市が広島市と共に運営する平和市長会議での活動紹介を約束した。ブズ氏は今後の双方の活動の連携に強い期待感を示した。



5 モナコ夜景観賞地視察

モナコ二日目の夜は、モナコヨットクラブでの夕食会であったが、食前酒が20時半から21時半ぐらいまでかかり、モナコ夜景観賞地の視察は深夜0時頃となってしまった（写真）。

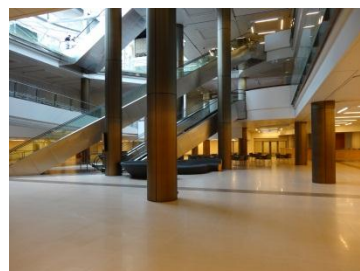
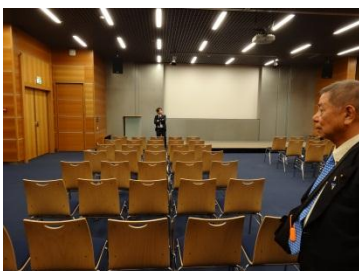


6 モナコ大聖堂・コンベンション施設等視察

翌朝20日は市内視察を行ったが、モナコ大聖堂のブラン司祭は長崎市の基督教の歴史に並々ならぬ親近感を示しており、今回の観光分野での交流を契機に、浦上教会と姉妹教会の提携を検討していることが明らかにされたのは予期せぬ収穫であった。

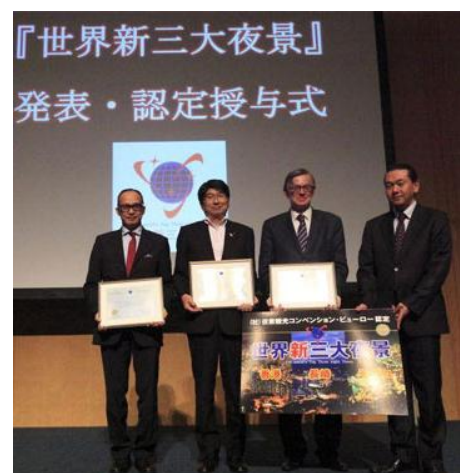


そのほかモナコ市内のコンベンション施設を視察し、設備や稼働状況について担当者から聴取した。モナコを訪れる750万人の観光客のうち、82%はレジャー目的であるが、18%はMICE（会議）目的であり、モナコのホテルの収入のうち20%がMICE関連であるとのことであった。モナコの宿泊のキャパシティは1万5千室で、年平均61%の稼働率であるが、これを埋めるにはMICEが一番とのことで、地味な100～300人規模の会議の誘致にも力を入れており、中国韓国にも積極的に営業しているとのことであった（別添パンフ）。



主要人物：パトリック・メドゥッサン モナコ公国大使略歴

1988年
～1994年 経済・社会評議会メンバー
1993年
～2003年 国会議員(財政、法案、外交に関する委員会に所属)
2009年
～2010年 個人情報管理委員会(独立委員会)コミッショナー
2011年～ 特命全権大使(モナコ本国常駐)
2012(平成24)年10月5日長崎ブリックホールで開催された『夜景サミット2012 in 長崎』へ出席。



モナコの概要



モナコ公国、通称モナコは、西ヨーロッパの立憲君主制国家。都市国家であり、首都モナコ市がそのまま全領土となる、世界で2番目に小さいミニ国家で、国連加盟国の中では世界最小である。フランスの地中海沿岸地方コート・ダジュールのイタリアとの国境近くに位置する。カジノやF1モナコグランプリ、WRC・ラリー・モンテカルロが開催されることで知られる。

【基本情報】

国名 モナコ公国 (Principality of Monaco)

面積 2.02km² (バチカンに次いで世界第2の小国)

人口 36,371人 (2011年、モナコ財務経済省)

首都 モナコ (都市国家であり、市がそのまま全領土) 市町村のような地方公共団体は存在しないが、4つの地区に分けられている。

- ① モナコ市街区 (宮殿・政府のある中心地区)
- ② モンテカルロ区 (カジノ・リゾート地区)
- ③ ラ・コンダミーヌ区 (港湾地区)
- ④ フォンヴェイユ区 (新興地区)

元首 アルベール2世公 (2005年即位) 王位継承は男子優先の長子相続。

政体 立憲君主制

政府 アルベール2世公の下に、政府を代表する国務大臣が任命され、5名の政府顧問 (大臣に相当) が国務大臣を補佐する。5名の政府顧問は、対外関係省、財務経済省、内務省、社会厚生省、設備・環境・都市開発省をそれぞれ所掌する。

- ・国務大臣：ミシェル・ロジエ (2010年3月～)
- ・対外関係相：ジョゼ・パディア (2011年1月～)

議会 一院制 (24議席、任期5年) (前回総選挙は2013年2月実施)

民族構成 外国籍者 (フランス国籍 47%、イタリア国籍 16%、その他 21%) 84%、モナコ国籍者 16%

宗教 カトリック (国教) 90%

言語 言語は公用語がフランス語で、その他モナコ語、英語、イタリア語。



NPT 核不拡散再検討会議第2回準備委員会その他要望活動について

1 NPT 再検討会議準備委員会の傍聴

4/22、広島市長と合流し、NPT 準備委員会の開会式に臨んだが、予定外に開会が遅れたため、次の予定である、チクバイゼ図書館長との面会を挟んで傍聴を行った。



2 チクバイゼ国連図書館長への要望活動

長崎市は一昨年から国連欧州本部内に原爆コーナーを常設している。展示品の審査委員会の責任者である、国連図書館長のチクバイゼ氏を訪問し、展示内容の改善及び充実などについて、要望を行った。チクバイゼ図書館長は、原爆展示の重要性を認識し、内容の充実に尽力することを約束した。その後、常設展示コーナーを視察した。



3 国連代表部天野大使への要望活動

午後も広島市長とともにジュネーブ市内の国連日本代表部を訪ね、天野特命全権大使が対応した。今回のNPT 準備委員会では、南アフリカ共和国が「核兵器の非人道性」に関する共同声明案を発表しており、両市長及び議員団は、天野大使に対し、日本も賛同表明するよう強く求めた。

これに対して天野大使は、今回の共同声明案にはやや拙速な部分もあるが、昨今は核不拡散と平和利用の両立が議論されているとのことで、途上国にとっては、原子力はむしろレントゲンや放射線治療など医療目的のイメージが強いとのことである。米国の核の傘に入っている我が国の微妙な立場もあって賛同を留保したい様子であった。

この訪問には、市内の大学生を中心としたナガサキ・ユース団も同席していたが、大使に直

接意見を言う機会も与えられ、若者なりに率直に賛同を促す発言もあった。



4 NPT 準備委員会及びナガサキ・ユース団の NGO セッション参加等

翌23日はジュネーブ市内を視察後、午後からナガサキ・ユース代表団のNGOセッションを視聴した。ユース団の英語力とプレゼンテーションはまだ未熟であり、参加者も多いとは言えなかったが、上映した記録映像は視聴者に十分な訴求力をもっており、一部参加者の質疑等も見受けられた。



●パレ・デ・ナシオン (Palais des Nations)

国際連合ジュネーブ事務局は世界に4つある国際連合の主要事務所のなかの1つ。

ニューヨーク市にある国連本部に次ぐ2番目の大きい事務所で、国際連合欧州本部と呼ばれている。建物はパレ・デ・ナシオンと呼ばれ1930年頃に建設された。

世界の国々から送られた芸術作品も至る所に飾られている。特にパレ・デ・ナシオン前にある大きな椅子のオブジェ「壊れた椅子」は有名。一つ欠けた脚は地雷を撲滅する意味が込められている。

国際連合の機関のほかにも、国際労働機関 (ILO) や世界保健機関 (WHO) といった多くの専門機関や国際計算機センターが入居している。

資料図書室が一般開放されている。また、一般の見学者も受け入れており、午前と午後に解説つきツアーもある (セキュリティ上、見学不可となる日もある)。セキュリティチェック、パスポートチェックあり。一般見学はプレニー (Pregny) 門から入場する。



【ナガサキ・ユース代表団 (Nagasaki Youth Delegation) のメンバー】

代表団8人 派遣へ抱負

江島 健一さん(24)

|| 長崎大医学部6年 ||



大田祐一朗さん(21)

|| 長崎大経済学部3年 ||



齊藤佑布子さん(27)

|| 長崎大事務補佐員 ||



核廃絶という国際的課題に対し、各国の政府やNGOがどのように取り組むのかを知り、海外の若者とネットワークを築きたい。

NGOが持つ知識やノウハウを吸収して還元することも私たちの役割。コンタクトを取って、継続的なつながりを持っていきたい。

父親が被爆者。被爆2世として被爆地の思いを世界に届けたい。社会人の皆さんにも核問題を自身の問題ととらえてもらえたら。

下田 杏奈さん(21)

|| 長崎大教育学部4年 ||



橋口 優乃さん(19)

|| 長崎大経済学部2年 ||



今の平和教育は平和より戦争の怖さに目がいついていると感じる。子どもたちが希望を持てるような教育の在り方のヒントを得たい。

日本の若者が核兵器の問題を身近なものとしてとらえ、平和活動に積極的に参加するヒントを、各国の若者と交流することで得たい。

福田 翔生さん(19)

|| 長崎大経済学部2年 ||



胡 フン ファンシ 芳欣さん(25)

|| 長崎大大学院経済学研究科2年 ||



前川 陽香さん(20)

|| 長崎大経済学部3年 ||



「被爆者は人間らしく死ねなかった」という下平さんの言葉が心に残る。受け取ったメッセージをしっかりと世界に届けたい。

中国から留学し、安全保障を学んでいる。平和への願いは共通だが、被爆地長崎の立場は特別。その一員として核廃絶を訴えたい。

海外では被爆の実相がまだまともに知られていないが、きちんと聞いてくれた人は涙を流す。原爆の悲惨さを伝え、共感を呼びたい。

(2013.04.09 長崎新聞)

【ジュネーブ市の概要】（仏: Genève、英: Geneva）

○基礎データ

スイス西部、レマン湖の南西岸に位置する都市（コミュニティ）。フランス語圏に属し、ジュネーブ州の州都である。標高は 373 メートル。チューリッヒに次ぐスイス第 2 の都市。

三日月形のレマン湖の南西側の角を取り囲むように広がり、サレーヴ山（Mont Salève）、ジュラ山脈等の山地に囲まれる。市内をアルヴ川、ローヌ川が流れる。

第二次世界大戦前には国際連盟の本部が置かれ、現在も、国際連合の諸機関等の多くの国際機関が所在する世界都市であり、条約の作成やさまざまな国際会議が行われている（そのため、日本も特命全権大使を長とする在ジュネーブ国際機関日本政府代表部、及び、軍縮会議日本政府代表部を置いている。ただし、領事業務はこれらの代表部ではなく、在ジュネーブ総領事館で行っている）。




また、サロン・アンテルナショナル・ド・ロト（ジュネーブ・モーターショー）、国際高級宝飾時計展（ジュネーブ・サロン）をはじめとする様々な国際見本市も開催される。ピクテ銀行やロンバーオーディエ・ダリエヘンチ銀行等のプライベートバンクの本店が集中しており、プライベートバンクの中心地でもある。



1 面積 15.86 km²

2 人口 191,803 人（2011 年 8 月現在）

3 姉妹都市・友好都市

-  ブエノスアイレス、アルゼンチン、1991 年
-  品川区、日本、1991 年（友好都市）
-  パリ、フランス、2002 年

4 気候

湿潤な西岸海洋性気候と大陸性気候の双方の影響を受けている。盛夏でも湿度が低く空気が乾燥しており、昼夜の気温差が大きい。市街地で雪が積もるのは、年 1～3 回程度。また降水量は少なく、傘を持たずに濡れて歩く方も多い。

日照時間は、かなり差があり、夏は夜 10 時でも明るく、冬は 4 時には暗くなる。夏は北海道の感じで、冬は北陸のような 1 日中曇りとした天気という所か。春や秋の天気は雨・晴・曇りと 1 日の内で変化する日が多い。